

令和7年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表

R07/5/30現在

No	担当	状態	テーマ名	詳細 リンク先	概 要	講師・説明者	開催日	開催場所	想定 定員	受講料 円/人
1	電磁力 担当	計画中	測定技術セミナー ～磁束密度波 形制御装置～（仮）		これから電気機器の設計開発を行う技術者、または電磁材料の磁気特性評価など電磁計測に興 味の技術者を対象とした初学者向けの技術研修です。 【講義】 軟磁性材料測定のための基礎知識 【実習】 磁束密度波形制御装置の操作	㈱ブライトック	令和8年1月中旬 ※機器導入後	センター 第2研修室	5	0
2	機械・ デザイン 担当	実施済	2025年度グッドデザイン賞 応募 説明会・個別相談会	https://w ww.oita- ri.jp/195 32/	グッドデザイン賞の応募をご検討、または応募手続きを進めていただいている方に、個別の応募 対象について記入のポイントや応募カテゴリーなど、具体的なご相談をお受けする「個別相談 会」と「応募説明会」を開催します。	日本デザイン振興会 事業部 渡部 明子氏 産業科学技術センター 職員	令和7年4月22日（火） 13：30～17：10	センター 第1研修室 C201	10	0
3		計画中	ノギス・マイクロの使い方セミ ナー		現場で広く使用されている測定機であるノギス・マイクロメータについて、基本的な測定スキル を学びます。	測定機メーカー	令和7年9月予定	センター 第1研修室	5	0
4		計画中	3D C A Dセミナーライノセラスモ デリング基礎 （オーダーメイド型）		工業デザインの現場で広く活用されている3D-CAD（ライノセラス）について、基本的なモデリン グを学ぶオンラインセミナーです。	産業科学技術センター 職員	令和7年5～7月 11月～令和8年1月	リモート開 催	2	0
5		計画中	三次元技術活用セミナー		県内の製造業を対象に、最新の三次元技術に関する情報、3 Dプリンタを活用した製品開発事例 や生産現場での活用事例などを紹介し、生産活動の効率化に寄与します。	株式会社 リコー（予定）	令和8年1月	センター 第1研修室	7	0
6		計画中	高速度カメラ出張技術講習会		県内企業の技術課題の解決力向上と高解像度ハイスピードカメラの利用促進を図るために開催し ます。 前半30分：高速度カメラ操作のための基礎的な取扱説明講習 後半30分：受講者による取扱・操作および現場の撮影条件に適した応用講習	産業科学技術センター 職員	随時 （要日程調整）	依頼企業の 敷地内（県 内のみ）ま たはセン ター内	5	0
7		計画中	サーモグラフィ出張技術講習会		県内企業の技術課題の解決力向上とサーモグラフィの利用促進を図るために開催します。 前半30分：サーモグラフィ操作のための基礎的な取扱説明講習 後半30分：受講者による取扱・操作および現場の撮影条件に適した応用講習	産業科学技術センター 職員	随時 （要日程調整）	依頼企業の 敷地内（県 内のみ）ま たはセン ター内	5	0
8	金属担 当	募集中	マイクロフォーカスX線CT装置の 操作実習セミナー	https://w ww.oita- ri.jp/200 26/	X線CT装置は、金属や樹脂、電子部品等様々な製品の内部を非破壊で観察することが可能であり 、品質管理やリバーサエンジニアリング等に広く用いられています。本セミナーでは実機での 操作実習をとおして、サンプルの非破壊観察とCT画像取得の流れを体験いただけます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月13日まで （要日程調整）	センター D102	4	1,200
9		計画中	顕微鏡観察・硬さ測定のための評 価試料作製及び評価技術の研修		材料や部品の研究開発、品質管理において、顕微鏡観察・硬さ測定は重要な評価手法の一つであ り、それらの評価には切断や研磨等の試料の前処理を必要とする場合があります。本研修では、 当センターが所有する評価試料作製装置や評価装置（金属顕微鏡、薄膜硬度計等）を用いた実習 により、前処理技術と評価技術を学ぶことができます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年2月27日まで （要日程調整）	センター G105	6	0
10		計画中	卓上型走査電子顕微鏡の操作実習 セミナー		卓上型走査電子顕微鏡は、製品・材料表面の微小領域を観察・元素分析することで、研究開発や 品質管理、クレーム対応に有用な情報が得られる装置です。本セミナーでは実機での操作実習を とおして、サンプルの微小領域の観察とEDSによる元素分析の流れを体験いただけます。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年2月27日まで （要日程調整）	センター G109-1	3	0
11	工業化 学担当	計画中	微小部蛍光X線分析装置操作研修		微小部蛍光X線分析装置は固体材料や異物の元素分析（主に金属元素）ができます。FP法による 簡易定量も可能です。令和5年度にJKA補助金により新機種に更新しました。これまで以上に短時 間で測定から報告書作成まで可能です。新機種の概要から一般的操作手順の解説を行います。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月13日まで （要日程調整）	センター G303	3	0
12		計画中	X線光電子分光分析装置（XPS）操 作研修		微小部蛍光X線分析装置は固体材料や異物の元素分析（主に金属元素）ができます。FP法による 簡易定量も可能です。令和5年度にJKA補助金により新機種に更新しました。これまで以上に短時 間で測定から報告書作成まで可能です。XPSの概要から一般的操作手順の解説を行います。	産業科学技術センター 職員	随時 令和8年3月13日まで （要日程調整）	センター B204-3	3	0
13		計画中	イオンクロマトグラフ操作研修		R2年度に更新したイオンクロマトグラフの一般的な操作方法の実演・実習を行います。 ①測定試料の調製方法 ②イオンクロマトグラフIntegrator（インテグリエーション）の操作方法	産業科学技術センター 職員	随時募集 令和8年3月末まで （要日程調整）	センター B305	3	0
14		計画中	高周波プラズマ発光分析装置 （ICP-OES） 操作研修		高周波プラズマ発光分析装置（ICP-OES）の一般的な操作方法の実演・実習を行います。 ①測定試料の調製方法 ②高周波プラズマ発光分析装置での測定・解析	産業科学技術センター 職員	随時募集 令和8年3月末まで （要日程調整）	センター B307	3	0
15	食品産 業担当	計画中	食品加工技術高度化研修会		地域資源の活用や安心安全な加工品製造技術の高度化等を目的に研修会を開催します。 （食品表示について、賞味期限の設定について、乾燥機等を利用した食品開発など、からトピッ クスを取り上げます）	外部講師 産業科学技術センター 職員	6月、10月、1月（予 定）	センター	講義 形式 100 名 実習 形式 10名	0
16		募集中	食品の表示および賞味期限設定の ポイントとその方法	https://w ww.oita- ri.jp/202 07/	食品を製造・販売するうえで必要な食品表示と賞味期限・消費期限の設定に関するポイントを解説 します。食品表示および賞味期限・消費期限設定の際の基礎と留意すべきポイントと併せて、必 要な科学的根拠などの設定方法を個別に解説します。	産業科学技術センター 職員	随時 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター	3	0
17		募集中	食品の品質管理技術向上のための 分析技術研修	https://w ww.oita- ri.jp/202 17/	自社製品の品質維持、向上のためには、まず製品毎の特性を知ることが鍵となります。その評価 の手法として機器分析などを取り入れることができれば、「安全・安心」な製品を安定的に生産 することが可能となります。そこで、品質評価のターゲットとなる成分を見極め、その分析技術 導入のための支援を総合的に行う研修を、各社の要望に対応した内容で個別に実施します。	産業科学技術センター 職員	随時 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター	3	0